

## 進捗状況の概要【1ページ】

## ○教育力強化

Campus-in-Campus（後述）の整備、科目ジュークボックス（後述）の構築・運用、国際的互換性と国際就業力を担保する革新的な教育プログラムの開設、入試改革等により下記のKPIの向上が見られるなど、**教育力の強化は非常に良好な水準で進捗している。**

- ・ 全学生に占める外国人留学生の割合（通年）が 19.7% (H25) から 24.3% (H28)
- ・ 大学間協定に基づく交流数（派遣）が 467 人 (H25) から 741 人 (H28)
- ・ 大学間協定に基づく交流数（受入）が 342 人 (H25) から 549 人 (H28)
- ・ 外国語のみで卒業できるコースの設置数が 39 コース (H25) から 49 コース (H28)
- ・ 外国語のみで卒業できるコースの在籍者数が 409 人 (H25) から 580 人 (H28)、参考:687 人 (H29)
- ・ 学生の語学レベル (TOEFL ITP 550 点以上) が 445 人 (H25) から 1,638 人 (H28)
- ・ シラバスの英語化が 1,928 科目 (H25) から 2,881 科目 (H28)、参考:4,544 科目 (H29)
- ・ 科目ジュークボックスの科目数が 0 科目 (H25) から 404 科目 (H28)
- ・ 外国人留学生の正規生の人数が 1,427 人 (H25) から 2,005 人 (H28)
- ・ 外国人留学生の日本での就職者数が 87 人 (H25) から 146 人 (H28)

## ○研究力強化

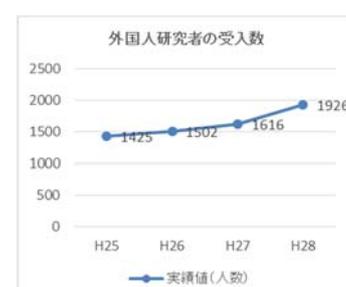
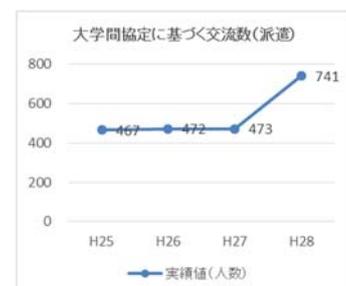
特別共同研究事業制度の創設、国際産学連携本部の設置、本事業による海外教育研究ユニット招致、研究大学強化促進事業による重点研究センターと学術センターの設置と重点支援、国際テニュアトラック制度、URA の戦略的配置等により下記のKPIの向上が見られるなど、**研究力の強化は良好な水準で推移している。**

- ・ 論文数に占める Top10% の論文数の割合 (Q 値) が 10.5 (H25) から 11.8 (H27)
- ・ 国際共著論文の割合が 28.1% (H25) から 34.1% (H28)
- ・ 科研費の若手種目の採択率が 36.7% (H26) から 43.7% (H28)
- ・ 海外企業との共同研究費受入額が 1,300 万 (H26) から 1.3 億 (H27)
- ・ 海外教育研究ユニット招致が 0 ユニット (H25) から 6 ユニット (H28)
- ・ 外国人研究者の受入数が 1,425 人 (H25) から 1,926 人 (H28)
- ・ URA の人数が 16 人 (H25) から 27 人 (H28)

## ○ガバナンス改革

学長を始めとする大学執行部が全員参画するスーパーグローバル大学事業運営委員会の設置、学長直属の大学戦略室の設置、学長を機構長とする研究戦略イニシアティブ推進機構による学内資源の選択と集中、全学戦略人事ポイントを活用して外国人・女性・若手教員を積極的に採用する FLY (Foreign, Lady, Young) プログラムの実行等により下記のKPIの向上が見られるなど、**ガバナンスの改革も着実に進んでいる。**

- ・ 年俸制適用者（教員）数が 198 人 (H 25) から 499 人 (H28)
- ・ 年俸制適用者（職員）数が 184 人 (H 25) から 240 人 (H28)
- ・ 新規採用に占める外国人教員等の割合が 25.1% (H25) から 40.8% (H27)
- ・ 新規採用に占める女性の割合が 23% (H25) から 24.5% (H27)



## 特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

## ■Campus-in-Campus

Campus-in-Campus (CiC) は、国境や機関の壁を超え、世界中の資源を積極的に活用したトランスボーダーな教育研究を実施するプラットフォームであり、学生、教職員の円滑な移動、人数制限の無い交換留学、相互オフィスによるサポート体制を可能にする。筑波大学のキャンパスを海外パートナー大学の中に創り出し、海外パートナー大学のキャンパスを筑波大学の中に創り出すことによって、世界の大学がホームキャンパスになる。

本学では、これまでにボルドー大学（フランス）、国立台湾大学（台湾）、カリフォルニア大学アーバイン校（米国）、サンパウロ大学（ブラジル）、マレーシア工科大学（マレーシア）と CiC 協定を締結し、科目ジュークボックスによる授業科目の共有、ジョイント・ディグリー・プログラムの開発、世界トップレベルの教育研究ユニットの相互共有などを推進している。



## ■科目ジュークボックス

Campus-in-Campus を活用するための方策のひとつとして「科目ジュークボックス」を開発し、運用を開始した。科目ジュークボックスは、大学の壁を超えて授業をコードシェアするシステムである。本学及び CiC の各パートナー大学が科目を相互に提供し合い、学生はいずれの大学から提供された科目でも自分の大学の科目として履修できる。

本システムは学生のモビリティを高めるためのものであり、システムに登録する科目は現地で履修するオンサイトの科目を基本とし、オンラインコンテンツは最小限に留める方針である。

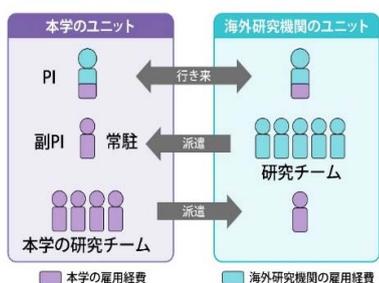
平成 27 年度にまずは本学の科目（約 150 科目）を登録し、試行的に公開するとともに、平成 28 年度にはボルドー大学（約 100 科目）、国立台湾大学（約 150 科目）の科目を登録し、運用を開始した。

科目ジュークボックスを活用した学生交流は平成 29 年度から本格的に実施される。これにより、学生は「世界がキャンパス」であることを実感できるようになる。



<https://c.j.tsukuba.ac.jp/ja/>

## ■海外教育研究ユニット招致



本学において強みのある研究分野を一層強化し、それを大学院教育に波及させるため、世界トップレベルの研究を行う下記の研究室・研究チームをユニットごと招致した。

- ①ハンブルグ大学：アジア・アフリカ研究所インド学チベット学研究室
- ②ライデン大学：メディカルセンター分子細胞生物学研究室
- ③オーフス大学：材料結晶学研究室
- ④プリマス大学：海洋酸化性・国際海洋フィールド学研究室
- ⑤グルノーブル大学：理工学教育研究ユニット

⑥カリフォルニア大学アーバイン校：スポーツ・ニューロサイエンス・グローバル・リサーチ・イニシアティブ

## ■世界大学ランキング

最新の「創立 50 周年未満の大学ランキング」及び「最も国際的な大学ランキング」において、本学の研究力・教育力・国際性が以下のとおり評価された。

- 創立 50 周年未満の大学ランキング (QS)： 世界 13 位(国内 1 位)
- 最も国際的な大学ランキング (THE)： 世界 141 位(国内 2 位)